

平成20年6月17日

## 大川石材ニュース 庵治ストーンフェア2008

「石に魅せられて」 ～匠の技に彩られた石たち～

八重型すじ蓮華の墓石 高松市議会賞受賞

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13  
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com  
FAX (087)845-7510 http://www.ookawasekizai.com



平成20年5月17日(土)～18日(日)に庵治町特設会場にて、庵治ストーンフェアが行われました。大川石材では、テーマ「石に魅せられて」～匠の技に彩られた石たち～にて、会場に彩りを与えるために「匠の技に彩られた 八重すじ蓮華の墓石」を出品いたしました。

大川石材は、庵治石のよさを伝える「ふるさと一番」(NHK)で放送されたように、「最高の素材に負けないように、日々最高の石材加工技術を目指しております。

八重すじ蓮華の輝きは、庵治石の研磨仕上により美しく表現出来ることは確信していますが、硬くキズの多い石で表現するには、石を吟味する目と熟練した高い技術が要求されます。

このたび、「庵治石で表現した花」が見る人の心にも咲くようにと、大川石材では石工が一丸となって作品作りに取り組みました。大川石材の強みは、石工がいかなるものにもチャレンジするという気持ちを持っているということです。

仕上げるまでの緊張感も、今回の会場で、多数の人に「きれいやね」「こんなお墓が欲しい」という言葉を聴くことができ、また、高松市議会賞を受賞いっそうの大きな喜びとなりました。

今回の作品で、匠の技に彩ったところは[右上の写真参照]

彫り、丸み、平面の輝きと陰陽が全体としてバランスがとれるように、完成後イメージした原石の選定は、経験をつんだ石工が厳選する必要があります。料理人が朝市場で食材を厳選するように、ひとつひとつ丁寧に選んでいるかのようです。いつも完成後を意識しています。

蓮華を手がけることは、石工にとっては誇りでもあります。蓮華の花は一般的にはすじがない型が蓮華台と呼ばれています。蓮華台の加工経験を積んだ石工のみが八重型すじ蓮華に携われる工程となります。今回は上下のすじ蓮華加工を組み合わせたものとなり、非常に高級感のある石碑となっております。

仏石は額仕上げとなっております。蓮華に対する加工のバランスから全体を見ることからもうかがえますが2段加工となっております。よりいっそう高級感のある墓石になってきます。



## 「匠の技に彩られた 八重すじ蓮華」

墓石



八重型すじ蓮華の部分



仏石の額(蓮華の上)の部分



人手による仕上げが出来る職人も少なくなっていますが、大川石材では「技能士の資格取得」「技能五輪への参加」など職人を育て、「大切な人のお墓や、日本の庭にあう灯籠・日本人としての誇りを示す石碑はぜひ、日本の石で」という思いで製品を納めています。

きれいな工場で、きれいな墓石・灯籠・石碑を作っています。近くには、世界の中心で愛を叫ぶのロケや20世紀を代表する石の彫刻家イサム・ノグチイサム・ノグチの庭園美術館、四国第八十五番霊場八栗寺などがあります。ぜひ、お越しください。



QRコード対応携帯をお持ちの方はご利用下さい

株式会社 大川石材

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13

電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com

